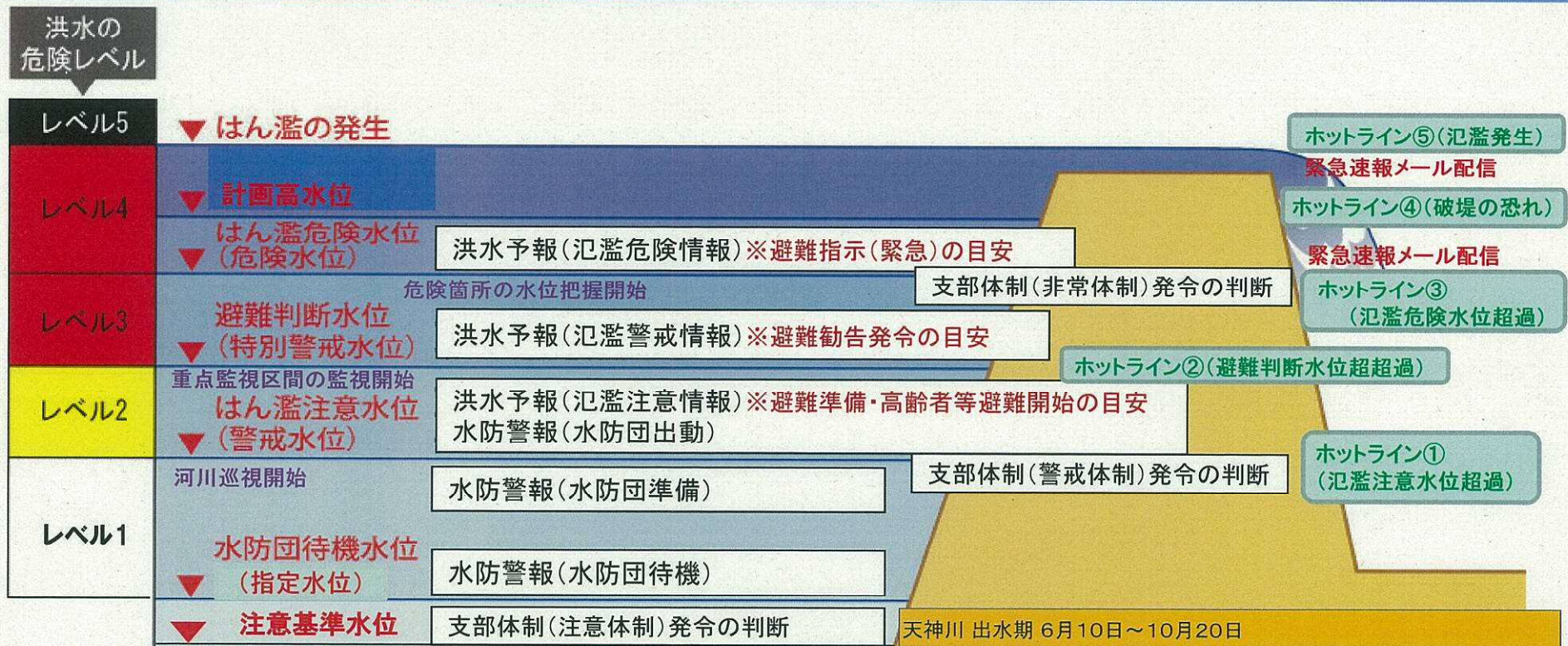


# 天神川水系洪水予報の概要



天神川 出水期 6月10日～10月20日

天神川 基準水位

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
現行		水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位	計画高水位
旧表示	注意基準水位	指定水位	警戒水位	特別警戒水位	危険水位	計画高水位
小田	3.3	3.5	4.5	5.7	6.9	8.320
竹田橋	2.7	2.9	3.9	4.7	5.95	6.713
河原町	2.0	2.2	3.2	3.7	4.2	5.081
福光	1.6	1.8	2.5	3.3	3.6	4.151
三朝	-	-	-	4.2	5.0	-

※水位周知河川(三徳川)の基準観測所である三朝水位観測所には、水防団待機水位、氾濫注意水位は設定されていない。



# 「ホットライン」による速やかな情報提供 及び

## 全国の国管理河川で初めて「緊急速報メール」を実施！

- 西日本に停滞した梅雨前線の影響により、江の川水系江の川吉田地点上流域の流域平均累加雨量は222mm（7月3日18:00～5日12:00）に達した。
- 『江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会』の減災に係る取組方針（H28.10.24策定）に基づき、タイムラインに沿って、三次河川国道事務所長から三次市長並びに安芸高田市長へ「ホットライン」により、水位などの河川情報の提供をおこない、円滑な避難勧告等の発令に寄与できた。
- 吉田水位観測所において、氾濫危険水位である6.50mを超えたため、7月5日に**全国の国管理河川で初の「緊急速報メール」**を配信し、住民の主体的な避難を促した。
- 「ホットライン」及び「緊急速報メール」などにより、早期に適切な避難行動をとることができ、浸水被害はあったものの人的被害は発生しなかった。
- 市長からは、「従来の防災無線等の情報に加え、緊急速報メールの配信により、地域住民も洪水情報を活用できた」と好評であった。



**<避難情報発令状況>**  
(江の川上流の河川増水に伴うもの)

○安芸高田市  
避難勧告 7月5日 7:35 吉田町・甲田町  
(3,538世帯、8,076人)  
※吉田町については、土砂災害の危険により既に避難勧告が発令されているが、江の川の氾濫の危険のため、再度発令

○三次市  
避難勧告 7月5日 7:30 川地地区  
(822世帯、1,894人)



**<避難状況>**

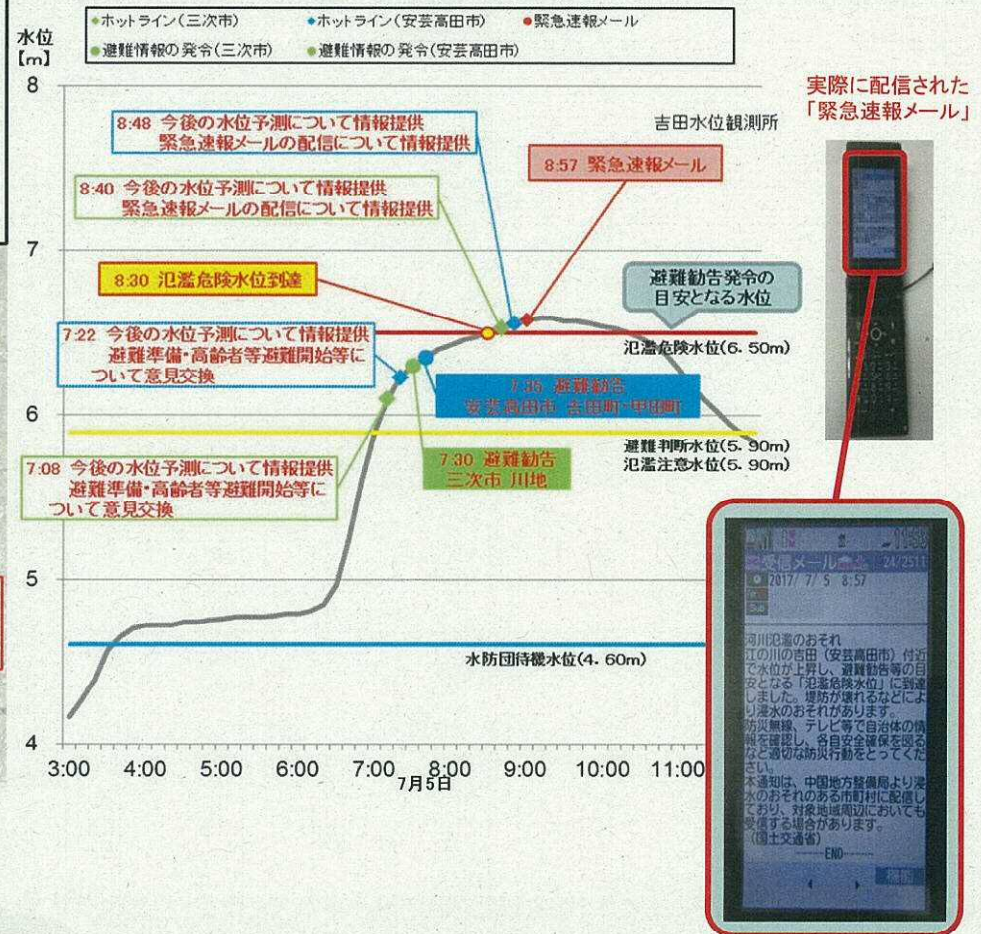
○安芸高田市 吉田町・甲田町  
(30世帯、73人)

○三次市 川地地区  
(41世帯、91人)

※江の川上流の河川増水に伴うもの以外を含む

※速報であり、数値等は今後変わる場合があります。

### 三次河川国道事務所から安芸高田市・三次市へのホットライン





台風等による風水害で起こり得る日野川水系大規模氾濫に備えて、関係機関が連携し、住民の命を守り、経済被害を最小化することを目的にタイムライン(防災行動計画)を検討しています。

(前は8月4日(金)にタイムラインの(検討)内容や日野川の災害等について参加者の皆さんに説明を実施)

今回は「研修会」として、各機関が目的意識を持ってタイムライン検討を行えるよう鳥取大学の梶川先生による洪水事例の講義や今後の検討の進め方について学びました。

また、検討会での意見交換を円滑に行えるよう4つの班に分かれて、グループワーキングで洪水時の各々の役割(ミッション)や課題についても検討し、発表を行いました。

9月17、18日に鳥取県内では台風18号による大雨が降った後でもあり、各参加者とも明確な課題意識をもってグループワークに参加していました。

## 【研修会内容】

○日時:平成29年9月25日(月)10時~12時

○場所:鳥取県西部総合事務所(2F)講堂

○内容:

1. 開会挨拶
2. 水防等基礎学習
3. 日野川タイムライン作成に向けて
4. 想定最大規模洪水による浸水リスクの把握
5. グループワーキング
6. 質疑応答
7. その他
  - ・平成29年台風18号による出水について
  - ・振り返りシートについて
  - ・今後のスケジュールについて

